

行政サービスが利用しやすくなる  
県民の皆さんの利便性の向上や多様な利用者の  
目線に立った行政サービスの実現

# 県立高等学校入学願書のデジタル化 (三重県教育委員会事務局)

令和5年度三重県立高等学校入学者選抜から、これまで、紙で行っていた出願を「Web出願システム」に変更。パソコンやスマホから24時間手続きが可能になり、志願者にとって便利になっただけでなく、中学校・高等学校側の入試業務の効率化にもつながりました。

## 全国で2例目となる「先進的な取組」 入力漏れの確認や修正を簡単に行える

三重県教育委員会事務局 高校教育課キャリア教育班 指導主事 水谷 紀子さん

### ■ DXに取り組んだきっかけ

以前より、学校側から「出願をデジタル化してほしい」という要望がありましたが、セキュリティ等の課題もあり、なかなか進められていない状況でした。「三重県電子申請・届出システム」が新システムに移行するタイミングで、デジタル社会推進局から入学者選抜で活用できるのではないかと提案があり、セキュリティもしっかりしていることから取組を進めることにしました。

#### ① 紙での出願をデジタル化することで、生徒も学校も負担が減りました。

県立高校の学科名は高校によって異なっていて、入学願書を書き間違えると初めから書き直しとなってしまいます。中学校は入学願書の書き方の指導にとっても苦労していましたし、高校は中学校から提出される情報を手入力でパソコンに打ち込んでおり、作業が長時間かかることもありました。

デジタル化することで、パソコンやスマートフォンから手続きが可能となり、出願者は入力漏れの確認や修正が簡単にできますし、高校側も一からデータを入力する手間が省け、双方の負担を大きく減らすことができます。



#### ② いざ始めてみると想定していないことも

システムの開始にあたっては、志願者、中学校、高校向けのマニュアルを作成し、高校職員向けの説明会を行いました。その際は「業務の効率化につながる」など前向きな声を多数いただきました。ところが、市町ごとにネット環境の制限が違っていたため、各学校に配備されている一人一台パソコンからシステムにアクセスできないところがあったり、スマートフォンの機種によっては使えない場合があるなど、いざ始めてみると想定していないことも出てきました。現場の要望も聞きながら、より使いやすいものに改善していきたいと思っています。

#### ③ 先がけとなるモデルに。

県立高校の「Web出願システム」は、都道府県の取組としては全国で2例目となります。

三重県と同じ「電子申請・届出システム」を運用している都道府県にとって先がけとなるモデルとして、無事にスタートできたことは入試におけるDXの第一歩になったと思います。

まだ電子納付に対応できていませんので、この点についても取り組んでいきたいと思っています。



### DXの取組によるメリット

#### 《出願者側》

- 手書きによる書類作成の手間が減る
- 入力漏れの確認や修正を簡単に行える

#### 《学校側》

- 願書等のデータ入力・管理業務の負担を大幅に軽減
- 空いた時間を別の業務に充てられる

#### これからDXの取組をされる方へのメッセージ

新しいシステムを導入する際には、準備期間だけでなく、試験期間も十分に取っておくことが大切です。その期間で浮き彫りになる課題を修正しながら本格的なスタートを迎えることが出来れば、スムーズにDXを進められると思います。



#### PROFILE

三重県教育委員会  
事務局

【所在地】津市広明町13番地  
【業 種】公社・官庁